



第 71 回日本リハビリテーション医学会関東地方会学術集会



専門医・認定臨床医生涯教育研修会

○日 時： 2019 年 9 月 29 日（日） 9：00 ～ 17：10（受付開始 8：30 ～）

○会 場： 東京理科大学 葛飾キャンパス 図書館大ホール

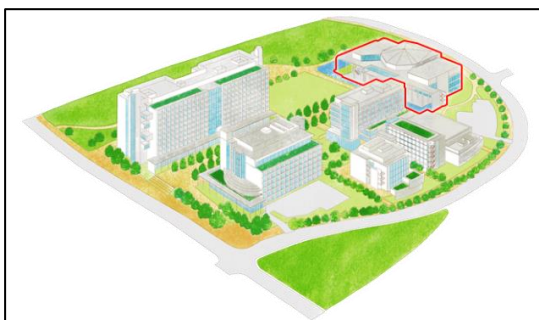
〒125-8585 東京都葛飾区新宿 6-3-1

TEL：03-5876-1717（代）

JR 常磐線（東京メトロ千代田線）「金町」駅下車、徒歩 8 分

京成金町線「京成金町」駅下車、徒歩 8 分

○会 長： 松元 秀次（日本医科大学大学院医学研究科 リハビリテーション学分野）



第 71 回日本リハビリテーション医学会関東地方会学術集会

会 長： 松元 秀次（日本医科大学大学院医学研究科 リハビリテーション学分野）

事務局： 日本医科大学千葉北総病院

〒270-1694 千葉県印西市鎌苅 1715

TEL：0476-99-1111 FAX：0476-99-1917

○参加費等

- ・ 地方会参加費 医師 2,000 円、メディカルスタッフ 1,000 円、学生 無料
- ・ 日本リハビリテーション医学会 生涯教育研修会 1 講演 1,000 円
- ・ 日本整形外科学会 教育研修会 1 講演 1,000 円

○単位認定・地方会参加 10 単位（筆頭演者はさらに年度末自己申請により 1 演題 10 単位）

- ・ 日本専門医機構専門医は参加 1 単位（筆頭演者はさらに年度末自己申請により 1 演題 1 単位）
- ・ 生涯教育研修会 1 講演 10 単位（3 講演で 30 単位）
- ・ 日本専門医機構専門医は 1 講演 1 単位（3 講演で 3 単位）
- ・ 日本整形外科学会教育研修会 1 講演 1 単位（2 講演で 2 単位）

必須分野：講演 1 [13, 8] 講演 3 [13]

日整会単位申請には IC 会員カードが必要です。必ずご持参ください。

○利益相反について

日本リハビリテーション医学会が定める「利益相反の管理に関する申し合わせ」に従ってください。利益相反がない場合もスライドで表示してください。

参加者の皆様へ

プログラムは当日配布しませんので、必ずご持参ください。

1. 受付にて参加費（医師 2,000 円、メディカルスタッフ 1,000 円）と引き換えに領収書と青色の参加カードと参加証明書をお受け取りください。参加証明書はお手元に保存し、必要事項を記入したカードを専用の回収箱にお入れください。
2. 生涯教育研修会にご参加の方は、1 講演につき 1,000 円をお支払いいただき、領収書をお受け取りください。専門医・認定臨床医資格更新のため単位取得をご希望の方は、白色の受講カードをお受け取りください。認定臨床医受験資格取得のため単位取得をご希望の方は、お申し出の上、オレンジ色の受講カードと受講証明書をお受け取りください。
いずれも、受講証明書をお手元に保存し、記入済みの受講カードは講演終了後、専用の回収箱にお入れください。
3. 日本整形外科学会教育研修会にご参加の方は、1 講演につき受講料 1,000 円をお支払いいただき、領収書をお受け取りください。講演開始前に、領収書を受付スタッフに提示し、IC 会員カードをカードリーダーにかざしてください。
4. 会場周辺ではコンビニが、駅周辺には飲食店がございますが、事務局では弁当販売を行います（弁当とお茶込みで 900 円）。ぜひご利用ください。昼食をとる場所を会場近くに準備しており

ます。受付でお尋ねください。

一般演題ご発表の先生方へ

1. 発表方法に関して
 - (1) **発表時間は7分、討論2分**です。発表時間は厳守してください。
 - (2) 発表は PC を使います。スライドホルダーや VHS ビデオは使用できませんのでご注意ください。
 - (3) 発表データは、USB メモリ、CD-R、PC 本体のうちいずれかの様式でお持ち込みください。
2. **講演セッション開始 30 分前まで**に PC 受付にて発表データの試写と受付を済ませてください。
3. USB メモリ・CD-R をお持ち込みの方への注意事項
 - (1) ウィルスチェックは最新の定義ファイルを用いて行ってください。
 - (2) ソフトは Windows 版 PowerPoint2010、2013、2016 をご使用ください。
※Macintosh をご使用の方はご自身の PC 本体を持参してください。
 - (3) フォントは OS 標準のもののみをご使用ください。
 - (4) スライドサイズは標準 (4:3) で作成ください。
 - (5) 動画ファイルをご使用の場合、再生に問題のないご自身の PC 本体をお持ち込みになることを推奨します。
4. ノート PC をお持ち込みの方への注意事項
 - (1) バックアップとして必ず USB メモリ等をご持参ください。
 - (2) プロジェクターとの接続ケーブルは Dsub-15 ピンです。PC によっては専用のコネクタが必要になりますので、必ずお持ちください。
 - (3) コンセント用電源アダプタを必ずご持参ください。
 - (4) 持ち込み PC のスクリーンセーバー、省電力設定は事前に解除願います。
5. 日本リハビリテーション医学会誌「Jpn J Rehabil Med.」掲載用の抄録原稿「演題名、演者名、演者所属、抄録（本文 400 字以内）」を作成し、デジタルデータとして
9 月 20 日までに事務局 小林宛て (s00-054@nms.ac.jp) にご提出ください。
6. 発表が次の順番になりましたら、次演者席にて待機してください。

**第 71 回日本リハビリテーション医学会
関東地方会学術集会 プログラム**

【一般演題：第 1 部】 9：00～9：55

座長：羽田康司（筑波大学医学医療系リハビリテーション医学）

1. **慢性期片麻痺患者に対する足関節 HAL の臨床経験**
筑波大学附属病院リハビリテーション科¹⁾
筑波大学附属病院未来医工融合研究センター²⁾
○武臣真和¹⁾、清水如代¹⁾、門根秀樹²⁾、羽田康司¹⁾
2. **急性散在性脳脊髄炎患者に対するリハビリテーションの経験**
埼玉みさと総合リハビリテーション病院リハビリテーション科
○渡辺武士、加藤 剛
3. **多発外傷の鎖骨骨折術後に対するリハビリテーション**
埼玉みさと総合リハビリテーション病院リハビリテーション科
○松永朗裕
4. **入院時特性からみた脊髄損傷患者の ADL 予後予測**
国立病院機構村山医療センターリハビリテーション科¹⁾
慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室²⁾
○赤尾佑衣¹⁾、植村 修¹⁾、里宇明元²⁾
5. **院内転倒で受傷した大腿骨頸部不顕性骨折の一例**
日高病院リハビリテーション科
○有井大典、中島慶子、坐間 朗
6. **回復期リハビリテーション病棟における急性期病棟への転院症例の後方視的研究**
昭和大学リハビリテーション医学講座
○飯田 守

【一般演題：第 2 部】 10：00～10：55

座長：原 元彦（埼玉医科大学・埼玉医科大学病院リハビリテーション科）

1. **脳卒中回復期に視覚誘導性自己運動錯覚と IVES 療法を併用した一例**
国立病院機構東埼玉病院リハビリテーション科¹⁾
慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室²⁾
○富澤佑起¹⁾、梶兼太郎¹⁾、和田彩子¹⁾、大塚友吉¹⁾、里宇明元²⁾

2. 抗 NMDA 受容体脳炎に対するリハビリテーション治療の経験
横浜市立大学医学部リハビリテーション科学教室
○兼城賢修、野々垣学、金森裕一、山上大亮、根本明宣、中村 健
3. ヘルペス脳炎後に記憶障害を呈した症例に対する復職を目指したリハビリテーション
リハビリテーション天草病院
○秋元祐子、天草弥生
4. リハビリテーションの経過中に認めた Task specific dystonia の一例
順天堂大学大学院リハビリテーション医学¹⁾
順天堂大学リハビリテーション室²⁾
順天堂大学脳神経内科³⁾
○田川康博¹⁾、谷 真美¹⁾、小見桃子¹⁾、佐藤和命²⁾、渡邊彩美²⁾、羽田野琢³⁾、補永 薫¹⁾、
伊澤奈々¹⁾、羽鳥浩三¹⁾、藤原俊之¹⁾
5. 視覚異常で発症し、街並失認および道順障害、言語性記憶障害が出現した
痙攣重積発作の 1 例
松戸リハビリテーション病院リハビリテーション科
○中崎 操、林田仁至、山中 泉、岡田 仁
6. 回復期リハビリテーション病棟において、水頭症のシャント圧調整を行い改善した 1 例
湘南中央病院リハビリテーション科
○馬淵一樹、飛松治基

【一般演題：第 3 部】 11 : 00～11 : 55

座長：小林美香（日本医科大学大学院リハビリテーション学分野）

1. 当院におけるドライビングシュミレーターを用いた自動車運転再開支援
栃木県立リハビリテーションセンター¹⁾
自治医科大学附属病院リハビリテーションセンター²⁾
自治医科大学神経内科³⁾
○近藤総一^{1, 2)}、秋本千鶴^{1, 3)}、鈴木 尚¹⁾、栗田英治¹⁾、中澤征人¹⁾、船越政範¹⁾
2. 急性期病院における頭部外傷患者の運転再開への取り組み
日本医科大学大学院リハビリテーション学分野
○中島早百合、小林美香、呉 輝雄、松元秀次

3. 退院支援研究という物語

退院支援研究会

○本間 毅

4. リハビリテーション関連医療費の動向

亀田メディカルセンターリハビリテーション科

○小山照幸

5. 外出訓練が治療再開の意思に繋がった緩和ケア病棟患者の一例

国立病院機構埼玉病院リハビリテーション科¹⁾

慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室²⁾

○武藤百合子¹⁾、大森まいこ¹⁾、山内利紗¹⁾、益田結子¹⁾、櫛田 幸¹⁾、小林由紀子¹⁾、
里宇明元²⁾

6. 当院における NST と褥瘡発生の臨床的効果

東京都リハビリテーション病院診療部リハビリテーション科¹⁾

帝京大学医学部附属病院リハビリテーション科²⁾

東京大学医学部附属病院リハビリテーション科³⁾

○五十嵐祐嗣¹⁾、寺尾 洋¹⁾、高崎良子¹⁾、中里康子¹⁾、武原 格¹⁾、緒方直史²⁾、
柳原幸治¹⁾、芳賀信彦³⁾

・・・昼休憩・・・

【一般演題：第4部】13：00～13：55

座長：四津有人（茨城県立医療大学医科学センターリハビリテーション医学分野）

1. 義足患者の患者満足度と義足の問題点

埼玉みさと総合リハビリテーション病院リハビリテーション科¹⁾

日本医科大学大学院リハビリテーション学分野²⁾

○松永朗裕^{1, 2)}、加藤 剛¹⁾

2. 当院回復期リハビリテーション病棟での FIM 実績指数の向上のための試み

国立病院機構村山医療センターリハビリテーション科

○倉片治郎、赤尾佑衣、松田恭平、大嶋 理、富岡曜平、植村 修

3. 当院における開胸手術症例に対する早期離床・リハビリテーションチームの取り組み

日本医科大学千葉北総病院救命救急センター¹⁾

日本医科大学大学院リハビリテーション学分野²⁾

○久城正紀¹⁾、中島早百合²⁾、呉 輝雄²⁾、小林美香²⁾、松元秀次²⁾

4. 異なる臨床経過をたどった有機リン中毒の二例

日本医科大学大学院リハビリテーション学分野¹⁾

日本医科大学千葉北総病院救命救急センター²⁾

○呉 輝雄¹⁾、久城正紀²⁾、小林美香¹⁾、中島早百合¹⁾、松元秀次¹⁾

5. 脳卒中慢性期の片麻痺に対してノルディック・ウォーキングを導入した1例

埼玉医科大学国際医療センター リハビリテーション科

○丸山 元、高橋秀寿、内田龍制、牧田 茂

6. S 状静脈洞血栓症に ICU acquired weakness を合併するも、
長期のリハビリテーション治療によって在宅復帰が可能となった1例

東京慈恵会医科大学附属第三病院リハビリテーション科¹⁾

東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座²⁾

○鈴木 慎¹⁾、渡邊 修¹⁾、巷野昌子¹⁾、木下翔司¹⁾、池田久美¹⁾、濱 碧¹⁾、
安保雅博²⁾

【専門医・認定臨床医生涯教育研修会：講演 1】14：00～15：00

（日本整形外科学会教育研修会 必須分野番号：13）

座長 辻内和人 医療法人小林病院 副院長

「脳卒中のリハビリテーション治療における促通反復療法の効果的応用」

鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 リハビリテーション医学 教授

下堂 蘭 恵 先生

【専門医・認定臨床医生涯教育研修会：講演 2（共催セミナー）】15：05～16：05

座長 北川恒美 日本医科大学付属病院リハビリテーション科 助教

共催 帝人ファーマ株式会社

「脳卒中リハビリテーションにおける上肢機能評価」

兵庫医科大学病院 リハビリテーション部 作業療法士

天野 暁 先生

【専門医・認定臨床医生涯教育研修会：講演 3】16：10～17：10

（日本整形外科学会教育研修会 必須分野番号：13）

座長 松元秀次 日本医科大学大学院リハビリテーション学 教授

「人の動きを支援する装置の開発」

東京理科大学 工学部 機械工学科 教授

小林 宏 先生